

せたがやくりついでけのうえ  
世田谷区立池之上しょうがっこう小学校の皆さんへ

★今月はリース作りに挑戦してみましょう!★

「リース」とは、植物の枝やつる花を使ってつくる「輪」のことです。  
冠として頭に乘せたり、家の入口に飾ります。その習慣は古くから世界のあちらこちらにあります。  
このリースには、使われる場面によって、お祝い・魔除け・豊作祈願・亡くなった方を大切に思う・など様々な意味があります。  
みなさんも、冬休みを楽しみにしながら、風邪をひかないようそんな気持ちで飾ってみてください。

12月



アカツル (ニシキギ科 クロツル属)

リースの形をつくる、つる性の植物です。つるになる植物には、朝顔のような草のタイプとアカツルのような木のタイプがあります。別名アカネツル、行者ツルとも呼ばれています。行者とは、山に入って修行をする方々のことで、その昔、この植物を行者の衣類に利用していたことからこの呼び名がつけました。

ヒムロスギ (ヒノキ科 ヒノキ属)

つまむようにさわると、森にいるようなさわやかなにおいがします。「ひむろ」とは姫むろのことで、「姫」というのは「しなやかな」という意味があります。もこもことした葉の感触が楽しい植物です。1本の枝に付いている葉の量が多くボリュームがあり、今回のようなクリスマスリースの材料として使用されています。

ワタ (アオイ科 ワタ属)

衣類に、素材が書いてあるタグがついています。そこに「綿」や「コットン」と書いてありますが、これらは同じもので、今回使用する綿のことです。白い繊維をよじって、糸状にすることで服の材料になります。このふわふわした綿は、種から生えている毛です。綿がはじけた姿が面白く、切花やドライフラワーとして使用されています。

お花は世界中からやって来ています! 世界中からやってくるお花と出会ってください!

ワンコインクラブ